



学校だより

5月号

令和2年5月1日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂



「であい ふれあい ひびきあい」は永遠

学校長 福田 美穂

風薫る5月になりました。学校や街路樹の木々の緑が鮮やかで、あちらこちらでかわいい花々が咲いています。自然は例年と同じように変化をし、新型コロナウイルス感染拡大で不安な人々の心を癒してくれているように思います。

また、通勤途中に風にあおられ勢いよく空を泳ぐこいのぼりをいくつも見かけます。逆境に負けず、力を出し切って次のステージに向かうそんな力強さを感じました。

こんな状況だからこそ、外出自粛しながらできる楽しみを見つけ、心身ともに健康でいることがとても大切だとつくづく思います。ご存じの通り、インターネットにはたくさんの素晴らしいアイデアがあげられています。手洗いを楽しくする方法や簡単にできる料理、体操、運動、手作りゲームなど、あげればきりがなくいろいろな情報があり、「みんなで力を合わせて乗り越えよう」という機運が高まってきています。ICTの力と、工夫をしようという意欲が、素晴らしいアイデアにつながっているのを見ると、新しい学力観を掲げている新学習指導要領の実施をいち早くと思わざるを得ません。

これから目指す教育は、どんな状況でも自分の課題を見つけ、解決していく力、生き抜く力の育成です。今までの経験や他からの情報を組み合わせたり組み替えたりして新しいものをつくることや、課題の解決に向けていろいろな人と協力していくことに力を入れて教育活動を進めます。いつ、どんなときにも、状況に負けないで生き抜く力を高めていきたいと思います。

本校の教育目標は、「であい ふれあい ひびきあい」です。以前からある目標ですが、令和という新しい時代になっても、大切にしたい言葉であり、教育の魂を感じます。本校教育目標に向かって、子どもの輝きを増やしていけるよう、保護者の皆様・地域の皆様と力を合わせて、日々の活動を行っています。どうぞご支援のほど、よろしく願いいたします。



さて、始業式の日で止まったまま5月に入りましたが、子どもたちの入学や進級のお祝いのメッセージはそのままにしています。学校が再開したときに、「入学、進級おめでとう」と声をかけ、気持ち新たにスタートしてほしいと考えているからです。子どもたちが、学校でエネルギーを爆発させて、力いっぱい過ごせるように、教職員一同しっかりと準備をしております。



子どもたちの様子を観察しながら、徐々に学校生活を思い出すように、また1年生はなじむようにしてまいりますので、安心していただきたいと思います。

また、休校が長くなり、お子さんのことで心配なことがありましたら、児童支援専任や養護教諭、カウンセラーに遠慮なくご連絡ください。